

平成26年度予算見積調書

課室名：温暖化対策課
 担当名：総務・エコライフ推進担当
 内線：3035 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
A8	さいたま環境創造基金積立金			一般会計	総務費	環境費	環境保全推進費	さいたま環境創造基金積立金	
事業期間	平成元年度～	根拠法令	さいたま環境創造基金条例			戦略項目	09 新エネルギー埼玉モデルの構築		
					分野施策	040202 低炭素な暮らしとまちづくりの推進			
<p>1 事業の概要</p> <p>地球環境問題への対応、快適な生活環境や身近な自然とのふれあいを求める住民のニーズへの対応といった、環境部門の幅広い課題に対する取組が実効性を上げるためには、住民一人一人の自覚と行動が重要である。</p> <p>このため、環境保全に関する知識の普及・啓発事業などの地域環境保全活動を継続的かつ着実に推進することを目的として、平成元年度に国から2億円の交付を受けさいたま環境創造基金を造成した。</p> <p>基金条例において、運用益については一般会計予算に計上し、基金に編入することとされている。</p> <p>(1) 国債及び定期預金による運用益 2,211千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 国債及び定期預金による運用益 2,211千円</p> <p>基金の運用益については、県民に対し環境学習の機会を提供するとともに、地域で環境学習及び環境保全活動を行う人材を養成し環境学習の活性化を図るため、環境学習関連事業に充当する。</p> <p>なお、基金の運用については、会計管理課で他の基金と一括して行っており、運用益を基金残高に応じて配分している。</p> <p>基金残高 403,100,247円(平成25年5月31日現在)</p> <p>(2) 事業計画 (充当事業)</p> <p>ア 低炭素型ライフスタイル推進事業費 家庭におけるCO2削減を進めるとともに、広く県民に向けた普及啓発事業を実施する。</p> <p>イ 環境学習推進事業費 環境保全への意欲の増進や学校や職場における環境学習の支援を図り、「環境にやさしい県」を支える人づくりを推進する。</p> <p>ウ 地球にいいことグリーンチャレンジ事業費 グリーンチャレンジシートを児童生徒に配付し、環境問題への認識を深めさせる。また、こどもエコクラブが取り組む環境学習活動を支援することで、地域の環境保全活動を促進する。</p> <p>エ 埼玉版家庭のエコ診断事業費 家庭におけるCO2削減の実践を進めるため、Web版の家庭の省エネ診断プログラムをホームページに公開し、誰でも簡単に受信できるようにする。</p> <p>オ 親子で学ぶ環境学習ガイド作成事業費 自然体験を実践するためのガイドとなる環境がkすたガイドブックを作成する。</p> <p>(3) 事業効果 地域住民等に対する地域の環境保全に関する知識の普及が図られる。 また、地域の環境保全のための実践活動の支援など、地域に根ざした環境保全活動を展開する上で必要な人材を養成することが可能になる。</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.2人=1,900千円									
				財 源 内 訳					
予算額		財産収入						一般財源	前年との対比
決定額	2,211	2,211							286
前年額	2,497	2,497							